

筑波大学環境連携ネットワークについて

1. 趣旨

本学においては、「環境」に関し、教育、研究、社会貢献など、あらゆる場面で様々な取り組みが行われている。その中で、事務組織の業務としては、企画室はつくば3Eフォーラムを通じた地域連携や環境プロジェクト推進等を、施設部は省エネ対策推進や施設の維持保全等を、総務部環境安全管理課は温室効果ガス削減施策推進や実験環境管理等をそれぞれ担当しているが、本学の環境施策の一元化を図ることなどを目的に、これらの組織間の密接な連携を図るため、「筑波大学環境連携ネットワーク」を構築するものとする。

2. ネットワークの内容

財務・施設・地域連携担当副学長の下に、本学の環境関連組織の連携を強化するためのゆるやかな連合体を組織する。本ネットワークの座長は、学長補佐(特命:環境)が担当する。全学的・体系的な環境施策を検討するとともに、学内外の様々な活動を集約・一元化し、情報発信及び学内外からの情報の受け皿機能を強化する。

3. 期待される効果

- (1) 学内の特色ある各環境施策の取り組みが集約される。
- (2) 全学的・体系的な環境施策の検討が推進される。
- (3) 本学の特徴の一つとして、環境関連活動の学内外への広報が強化される。

4. その他

今後は、教育、研究等に関わる情報をも集約し、教育・研究組織(系、研究科、学群、センター等)との情報交換や連携も視野に検討していく予定

筑波大学環境連携ネットワークについて(図)

本学の環境関連組織の連携を強化するためのゆるやかな連合体を組織する。全学的、体系的な環境施策を検討するとともに、学内外の様々な活動を集約・一元化し、情報発信を強化する。

